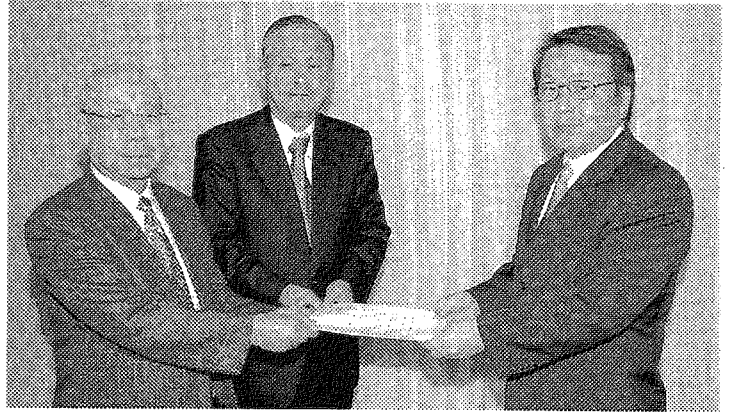


# 産業振興・まちづくり推進

## 中野支部、産業活性化で区に要望



田中・中野区長（右）に要望書を  
手渡す石井支部会長（中央）

要望書では、区内産業振興政策や中野のまちづくり、区内での新規開業を促進するための金融支援などについて、産業界の立場から提言・要望を行っている。

区内産業振興政策に関しては、シティーセールスの第1歩として、中野区を区内外にPRする施策の推進を要望、「ふるぶ中野区」の発行への取り組みを挙げている。また、中野のまちづくりで

は、中野区、東商中野支部、中野工業産業協会および関連団体による話し合いの場の設定のほか、地域のまちづくり再生計画策定にあたり、東商中野支部をはじめとする産業界団体、まちづくりの専門家等の意見の反映などを求めている。このほか、金融・税制面では、区内で新規開業する法人・個人に対する金融支援、保証協会の無担保保証枠の拡大について要望している。

東京商工会議所中野支部（会長＝石井卓爾・三和電気工業社長）は中野

過去に要望のなかでは、区長と産業界トップとの定例懇談会の実施や産業振興部署の新設、中野駅周辺まちづくりに関連した対象エリアの拡大などが実現している。

## 第14号案件が成約

### 東商M&Aサポート事業で

東京商工会議所はこのほど、東商M&Aサポート事業における14件目の成約案件を発表した。会社名は非公開。

譲渡企業（売り手側）は、中部地方で小売業を営んでいるA社の子会社B社。譲り受け企業（買い手側）は、小売業を営むC社で、A社の事業再構築とC社の商圏拡大という目的が一致した。A社社長は、自身の決断により「数名を除いて全社員がC社で元気に働いている」と社員の雇用が確保され、本業の事業に専念できることの喜びを語った。主な特徴は次の通り。

東商M&Aサポートシステムに寄せられるM&A

## 第1回eco検定

### 合格者

東京商工会議所はこのほど、全国33会議所との共催により実施した第1回eco検定試験の合格者の分析結果を発表した。主な特徴は次の通り。

## CBO利用企業を募集

来月1月22日まで

東京都では、第8回償還 今回は、①無担保・無

参加条件は、都内および連携する地方公共団体（千葉市、川崎市、横浜市など）の行政区域内に営業所などがある、あるいは同区域内への進出を

を満たした場合でも、特定業種に申し込みが過度に集中した場合や資本関係のある複数企業から申し込みがあった場合などは認められないことがある。

金。発行金額は3000万円から1億円（1000万円単位）。発行利率は金利固定型または金利変動型を選択し、債券発行前に決定。期間は3年定。

詳細は東京都産業労働局ホームページ（http://www.sangyo-rodo.metro.tokyo.jp /kinyu/clo/index2

①高い合格者率。1万4000人の受験者のうち約10人が合格。第1回検定試験の合格率と高い合格率と高い合格者率。境問題に関する人が受験する人が受験する多様な立場のみやすいよ題となった。②幅広い年